

平成28年度決算にかかる事務事業に対する提言

所管委員会	事業名	判定理由・提言
総務常任委員会	ふるさときらめき湖南づくり 寄附事業	<p>市実施／現行通り 本事業は導入した限り継続し、収入率（約45.4%）の向上に心掛け財源の確保に努力すべき事業である。ただ、事業目的の達成度を測ると寄附をされる方が本来の目的として実施されていないものが多く見受けられる（返礼品目的）ので、寄附金の使途申込を明確かつ具体的に表記し、本来の目的の達成に努力を重ねるべきである。また、返礼品の育成を通して地場産業の振興や市のPRにつなげ、重ねて商工会、観光協会の育成も視野に置いて実施頂きたい。また、業者委託だけに頼るだけでなく、職員の関わりも強化し、事業全体の把握も適切に行う事。また、新しいアイデア（返礼品の充実、独自のHP、SEO対策など）を盛り込むことで寄附件数の伸び率（約1.1%）向上に取り組みながら行政間競争に負けないよう努力を重ねて頂きたい。経費の削減としては礼状発送などはIT、SNSなどの活用で代用できるのではないか。総じて現行通りの評価であるが、指摘事項を添え事業評価とする。</p>
福祉教育常任委員会	生きがい活動支援通所事業	<p>市実施／現行通り ①本来国の事業である。国は責任を持って財政支援をするべきである。 ②生きがい支援施策の全体的なビジョン、考えを整理して、責任の所在を明確にするような人的配置をもって事業を進めること。 ③庁舎内の関連部局、地域を含めて連携し、ニーズの共通理解を進めること。 ④自立支援型の個人ニーズ調査の実施と利用者個人に即したサービスの提供を検討すること。 ⑤利用者の自立度や能力等によるサービスの種類がわかりやすい一覧表を作成すること。</p>
福祉教育常任委員会	ウツクシマツ保護事業	<p>市実施／現行通り、拡大 ①天然記念物、「市の木」としてうたっている以上、市の責任を明確にしてやるべきである。 ②短期、中期、長期のそれぞれの目標を決めて進める。 ③観光行政との連携も含めた総合的な事業として取り組むべきである。</p>

平成28年度決算にかかる事務事業に対する提言

所管委員会	事業名	判定理由・提言
産業経済常任委員会	観光推進対策事業	<p>市実施／内容規模見直し</p> <p>【事業全体】 本市における集客の3割はイベントである。持続可能で独自性が求められるべきであり、そのためには歴史的な文化財の活用に尽力し、特産品や工芸など魅力の発信が必要と考える。観光協会が市以外に、企業とのタイアップをするなど自主努力を評価します。</p> <p>【三大まつり】 補助金事業として更なる事業展開は難しいと感じる。市においてこれまで以上に企業・団体と連携を図るべきである。イベントの集約とプロデュースを市が責任をもって行なうべきであり、例えば「さくらまつり」と「石部宿まつり」を併せて一カ所で開催するなど、協力者の負担軽減を考慮することが必要。また、夏まつり等において駐車場や道路の警備費用が多額である。駐車場利用者からイベント協力金として徴収をするなどの工夫をしてはどうか。ゴミ袋を渡すことでゴミの持ち帰りに協力をお願いします。</p> <p>近隣道路の交通対策も急務である。JRなど公共交通との連携を含めバスの柔軟な運行で渋滞軽減を図る。</p>